

平成 22 年 10 月 15 日 発行 (第 49 号)

編集／発行 与板支所地域振興課

電話：0258-72-3100 FAX：72-3341

E-mail：yit-chiiki@city.nagaoka.lg.jp

よいた 支所だより 10 月号



↑ 神社への坂道を登る「登り屋台」の先頭を飾るのは「花乗りの男衆。威勢のいい掛け声とともに引き手をおおる。

与板で一番熱い日

与板十五夜まつり2010

それは「与板十五夜まつり」に違いない。

夏からこの日を待ちわびた若者たちの汗と熱気が、秋雨の冷たさを蹴散らしていく。

昼と夜、それぞれが光り輝く日だ。

「やっぱり、与板のまつりは最高！」

躍動の渦が、こんなにも私たちの心を一つに包み込んでしまうのだ。(9月17日～19日)



↑ 100人以上の引き手が呼吸を合わせ、重さ4トンの屋台を引き上げる。熱気が湯気となり、汗が飛び散る男の見せ場。



笑顔が与板を包むとき

与板十五夜まつり2010
フォトアルバム

特集

祭 守る人 伝える人

与板十五夜まつりの伝承

台輪をさしませ、引けよ巻けよと囃子が響く。登り屋台、250余年の歴史。歴史が今に続くのは、支える「人」の存在あってこそ。この二人に、お話を伺いました。



渡邊 春雄さん(62歳、南新町)
屋台の修繕を担う「職工」として、父の代から南新町の屋台を守り続ける大工職人。



高橋 良成さん(43歳、中町)
幼少の頃からお囃子に慣れ親しみ、現在は中町子供会へのお囃子指導を担う中心的存在。

「守る」という誇り

屋台を守る、歴史を守る

「大切に使えば、長くもつものだよ。」それは、250年以上にわたって守られてきた「登り屋台」のことだ。

屋台はくずして保管する。設計図はない。経験だけを頼りに組み立てる。職工の出番だ。

釘は一本も使わない。「入らん時は、揺さぶれ。」長い月日を経た木造の屋台は、よくしなう。

後継者、つきまとう課題

『てこもち』が大切なんだ。」重さ4トンに及ぶ屋台の台輪を支えるブレーキ役。今は助っ人に力を借りている。「どこも高齢化しているからね。」職人氣質で無口な渡邊さん。ふとつぶやいた一言に、屋台を守る町内の重い使命が詰まっている。



←「上に上がるのは若いもんだけ」と、下から全体の指揮を執る渡邊さん。

今年、「俺の親父が作った」という台輪を50年ぶりに新調する節目の年となった。



←頼りになる若者の存在も、最近では少なくなかった。「たいしたもんだ！立派、立派！」と、励ます言葉に、渡邊さんの優しさが見える。

「伝える」という願い

お囃子がいつしか体に刻まれて

まつり前のお囃子の稽古場は、子どもから大人までぎっしりだ。さっきまで遊んでいた幼児が近所のおじさんの膝に抱かれ、小太鼓を習っている。「お囃子に楽譜はありません。体で覚えていく感じですよ。」皆、物心ついた頃にはお囃子の音色の中にいたという。

「屋台の花乗り(最前列)に憧れる中学生頃になると、次第に後継者としての自覚が芽生えてきます。」

伝えているものは、技術だけではないようだ。

心に故郷を残してあげたい

「私も昔、ここで遊んだことを鮮明に憶えています。」と話すのは中乗り長の藤田さん。「遠く離れていても、ここで遊んだ記憶やお囃子の音色を思い出し、故郷を懐かしく感じてほしいと願っています。」



←幼児も稽古に参加。初めは小太鼓から。見様見まねで叩きながら、体にリズムを刻み込む。

太鼓の音色と振動が全身にびんびん響く。



←親から子へと、受け継いでいく。「曲の最初に『それ』と掛け声を合わせるのが難しい」と話す畑 昂樹さん(4年生)とお父さん。

戦国時代の勇姿りりしく 与板天地人行列

与板城主直江兼続公率いる武者行列が与板に登場。勇ましい甲冑姿や美しい着物姿の行列が、戦国時代を鮮やかに再現しました。



↑公募で選ばれた松浦 圭輔さんが兼続公に扮して登場

←【写真右】観客に笑顔で応えるお船の方役の大淵 信子さん
←【写真左】「お船さんきれい〜」「兼続さんかっこいい〜」と手を振り、声援を送る子どもたち



行列の後も楽しみいっぱい♪

与板 観光まつり

天地人行列に合わせ、観光協会が楽しい・おいしいイベントを開催。腹ごしらえの後には、ストリートパフォーマンスややさこいなどを楽しみました。



↑商工会女性部とっておきの「お船なべ」は鮭と野菜がたっぷり。「あ〜ん」「おいしいね♪」



↑大きな陸ガメも登場。「ちょっぴりこわい…」

シートベルトをしてください！秋の交通安全運動

与板幼稚園年長児が、かわいい指導隊姿で、元気に安全運転を呼びかけました。(9月27日、29日)



↑与板町交通安全協会主催の「交通安全Yoita大会コンサートin与板」では、県警音楽隊や与板中学校吹奏楽部が素晴らしい演奏を披露しました。(9月25日)

ほら、こんなに 獲れたよ 小学校田稲刈り、はざかけ

与板小学校5年生が5月に作付けした稲の刈り取りとはざかけを体験しました。(9月15日)



回してしぼるのが難しいよ〜!
(佐久間 瑠奈さん)



「やっばよいたら通信」
を見てね!

名称新たに「与板地域体育祭」

今年からコミュニティ活動を中心とした運営になり、参加しやすい種目も増えました。一緒に楽しむことで、地域の輪をしっかりとつないでいきたいですね。(9月26日)



おめでとう ご長寿の皆さん

与板地域敬老会に、今年88歳を迎えた25人中8人が出席し、米寿のお祝いを受けました。「来年も元気に、敬老会に集まりたいね〜。」(9月12日)

三輪晃久さんの日本画が 与板中学校の通知表に

与板出身の日本画家、三輪 晃久さんの作品「春丘」が本年度から与板中学校の通知表の表紙を飾ることになりました。

この画は、三輪家ゆかりの樂山亭の植栽に多くの中学生が協力したことへの感謝として、与板中学校に寄贈されたものです。



いきいきフェスティバル

11/7(日)催し

鉄と火のカーニバル (ふいごまつり)

地元で獲れた新鮮な農林産物・生花を格安販売。きのこ汁サービスやもちつき、ステージイベントなど盛りだくさん。

11/1 発行の市政だより折込
チラシを見てね!

時間=午前9時~午後3時
会場=与板体育館
主催=与板いきいきフェスティバル実行委員会
【問】産業課農林係(内線 222)



打刃物の古式鍛錬儀式を見に来ませんか。
打刃物体験もできますよ。

内容=古式鍛錬儀式:午後1時30分~2時。かじや体験・かな削り・がらくた市は時間内ずっと。
時間=午前10時~午後3時30分
会場=都野神社 金山神社前
主催=村のかじや
【問】産業課商工観光係(内線 224)



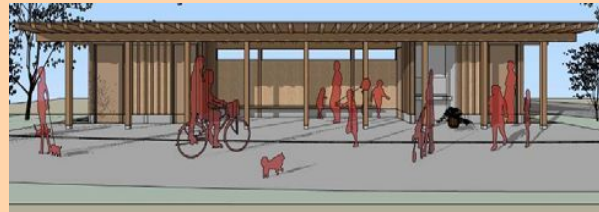
まちづくり ワークショップ レポート

NO. 1 【平成 22 年度第 1 回与板地区まちづくり協議会を開催】



9月30日(木)、今年度第1回目のワークショップを開催しました。ここでの提案を「与板地区都市再生整備計画」(平成19年度から5ヵ年で進行中)に生かしていきます。

今回は、「上与板駅跡地の広場」(横町)や「遊歩道」の活用について協議しました。提案内容をご報告します。



↑ 上与板駅跡地の広場に建設予定の東屋と門柱→
(イメージ)



【問】建設課 (内線 243)

1、上与板駅跡地の広場、遊歩道の年間行事を提案

現在与板地域で実施している行事などを基に、下記のとおり年間行事の提案がありました。

【春(4月~6月)】

- 楽山苑ライトアップと併せて「木工品・陶芸品展示・フリーマーケット」
- 子供を中心にお祭

【夏(7月~9月)】

- ビールフェスタの時に「あかり祭(竹灯籠と天地人)」
- レールの上に置く台車灯籠のような「電車の模型」
- 流しうどん祭
- 子供花火大会

【秋(10月~11月)】

- 天地人行列に「農産物直売会、食交流市」
- 「竹灯籠、オープンガーデン祭、収穫祭、押し花会展示、ウォークラリー」

【冬(12月~3月)】

- 「雪合戦」、甘酒ふるまひ
- 「雪だるま大会コンテスト」

2、活用・管理のルールを提案

- **花壇の世話**などを年間を通して町内会、グループが協力してはどうか。
- 広場や遊歩道でイベントを行う時、使用しやすい**ルール化**が必要ではないか。
- **定期清掃**(年4回程度)の協力を沿道町内へお願いしてはどうか。

3、足元灯の陶板制作のテーマと素材を検討

- 「天地人放映の記念」に俳優の**手形**や、与板の有名人、子どもの手形をつけたい。
- 「与板の打刃物」をテーマに**打刃物の型抜き**をしてはどうか。
- **長岡鉄道、屋号、良寛、祭、愛、今年のお話**などをテーマにしてはどうか。
- **子どもたち**に作ってもらいたい。



↑ 足元灯

回答はお済みでしょうか



誤りがないか、確認してね!



国勢調査の回答期限が過ぎています。回答がお済みでない場合は、記入いただいた調査票を封筒に入れ、封をした上で調査員に渡してください。(郵送での提出もできます。)

調査票が届いていない場合は、ご連絡ください。

【問】地域振興課地域振興・防災係(内線 212)

秋の火災予防運動

11月9日(火)~15日(月)

「消したかな」あなたを守る 合言葉

暖房器具を使用する機会が多くなります。火の取扱いには、十分注意しましょう。

【問】与板消防署予防係 ☎72-2572

給油はストーブの火を消してから。



お願い

救える命を守ろう「119番」
救急車・適正利用のお願い

1、「119番」へ通報してください

救急車等の要請を直接、与板消防署に電話される方がいます。

場所の確認などに時間がかかり、出動が遅くなる恐れがあります。



2、救急車はタクシーではありません

「サイレンが恥ずかしいので、傷病者を自家用車で消防署へ連れて来た」、「優先的に診てもらいたくて救急車を呼んだ」、といった不適切な利用が目立ちます。

大切な命を救うため、救急車の適正利用にご協力ください。

【問】与板消防署救急係 ☎72-2572

野焼きは禁止されています



野焼きの煙による苦情が、多く寄せられています。基準に合った焼却炉を用いないで、野外でごみ等を焼却することは、法律(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)で禁止されています。

野焼きは、環境や体に悪影響を及ぼすダイオキシンの発生につながり、悪臭は近隣に大変な迷惑です。また、火災の原因になった事例もあります。



事業所のごみは、原則として許可業者に処理を依頼してください。

←「ごみと資源物の分け方と出し方」で決められた方法により処理しましょう。

【問】市民生活課環境係(内線 134)

10月の納期限は11月1日(月)です

市民税・県民税3期、国民健康保険料4期、後期高齢者医療保険料7期、介護保険料7期

65歳以上の皆様へ

インフルエンザ予防接種を受けましょう

希望する人は医療機関にある接種上の注意をよく読み、予診票に記入し医師の問診を受けて接種してください。



ワクチンの効果が表れるまで2週間程かかります。

期日 = 平成23年3月31日まで

場所 = 市内の委託医療機関

内容 = 季節性と新型の両方に効果があるワクチン

対象 = 接種当日満65歳以上

60歳以上65歳未満で心臓・腎臓・呼吸器などに重い病気のある人

料金 = 1,050円

生活保護世帯の人は無料

今年度より市民税非課税世帯の人でも無料となります。但し、支所に申請が必要です。

持ち物 = 記入済の予診票

保険証

健康手帳(持っている人)

【問】市民生活課保健係(内線 123)



まちなの駅「よいた」

催し

与板十五夜まつり

フォトコンテスト写真展

期間 = 10月25日(月) ~ 12月14日(火)

時間 = 午前9時 ~ 午後5時

催し

与板かんなの削りくずが変身!

削り華を作りませんか

日時 = 11月14日(日)

午後1時30分 ~ 午後3時30分

定員 = 先着20名

会費 = 500円

申込期限 = 11月12日(金)

申込・【問】 = まちなの駅「よいた」 ☎72-4161

与板地域の人口 (H22.10.1 現在)		() 前月比	
世帯数	人口	男	女
2,153世帯 (+6)	6,980人 (+4)	3,413人 (+3)	3,567人 (+1)

1	月		15	月	
2	火		16	火	誕生会(幼稚園)
3	水	天地人マラソン(たちばな健康マラソン) (勤労青少年ホーム駐車場S/G)	17	水	さわやか健康体操教室(勤労青少年ホーム) びよんびよんくらぶ(幼稚園)
		生涯学習フェスティバル(芸能発表会)(与板体育館) 幼稚園フェア(幼稚園)	18	木	足腰お達者教室(ふれあい交流センター) エアロビサークル(勤労青少年ホーム)
4	木	足腰お達者教室(ふれあい交流センター) エアロビサークル(勤労青少年ホーム) 米百俵号巡回(小学校)	19	金	びよんびよんくらぶ(幼稚園)
			20	土	与板近郷ゲートボール大会(志保の里荘) 離乳食相談(支援センター)
5	金	びよんびよんくらぶ(幼稚園)	21	日	地域対抗スポーツ大会(カラーリング)(与板体育館) 地域秋季バドミントン大会(中学校)
6	土				
7	日	与板いきいきフェスティバル(与板体育館周辺) 与中祭(中学校) 作品展・バザー(保育園)	22	月	赤ちゃん相談(与板保健センター)
			23	火	勤労感謝の日
8	月		24	水	さわやか健康体操教室(勤労青少年ホーム) びよんびよんくらぶ(幼稚園)
9	火	あんしん体操教室(勤労青少年ホーム) ポリオ(三島保健センター)			
10	水	さわやか健康体操教室(勤労青少年ホーム)	25	木	エアロビサークル(勤労青少年ホーム)
11	木	エアロビサークル(勤労青少年ホーム) 3歳児健診(三島保健センター)	26	金	新入園児保護者会(幼稚園)
			27	土	
12	金	びよんびよんくらぶ(幼稚園) 米百俵号巡回(幼稚園)	28	日	
			29	月	リハビリサークルむつみ会(志保の里荘)
13	土		30	火	あんしん体操教室(勤労青少年ホーム) びよんびよんくらぶ(幼稚園)
14	日	ハートフルコンサート(小学校) 2010与板オープン卓球大会(与板体育館)			

おいしいおしゃべり
ほっかほっか



第6回目のおいしい人は...

藤田 アイ子さん(横町)です。
ご自宅でお茶をいただきながら
の、楽しいおしゃべりです。



おこわ作りが得意で、講師経験もある藤田さん。

おまつりのごちそうという、まずはおこわでしょうか。

「東京のもんも、みんな懐かしがって、喜んでくれるからね。うちは正月も盆もお客はないの。ただ、**十五夜まつり**だけは来たい!って10人からのお客があるわね。」

おいしいおこわ作りのコツは何でしょう?

「私は、しとを打つ時に、**塩**を入れるんだよね。そうすると、**ぼやぼや**と、おいくなるような気がするわね。」

おこわがぼやぼや!?初耳です!

「まるやかっというか、硬くならないっていうかね〜。」

なるほど〜。おもしろい言葉があるんですね。

ほかに、おまつりにどんなごちそうを作りますか?

「十五夜まつりは、**ずいきまつり**ともいうからね〜。」

それも初耳!確かにずいきのおいしい季節ですもんね。

「ずいきはやっぱり甘酢だね。あとは、**茄子炒り**、**ぜんまい**、**えご**とかね。肉や魚はいつでも食べられるから。」

「まあ、**話が一番のごちそう**だね!アハハハ!

お客様が楽しみに来られる秘密は、何より藤田さんの高らかな笑い声にありそうです。

おいしいおしゃべり、ごちそうさまでした!

